

同窓会報 白百合

〈 題 字 〉
元仙台白百合短期大学教授 保井明子
〈 発 行 〉
仙台白百合女子大学同窓会
同窓会事務局 仙台市泉区本町6番1号
同窓会事務局直通TEL・FAX(022) 372-3595
仙台白百合女子大学
TEL(022) 372-3254
FAX(022) 375-4343
〈 印 刷 〉
ハルウ コミュニケーションズ

No.
51

発行 2022年4月

新たな展開を目指して

仙台白百合女子大学 学長
同窓会名誉会長

矢口 洋生



人間は多くの人に見まもられ、育まれて成長する。大学という組織も同様で、多くの人目がかけ、手をかけることによって成長する。同窓生の皆さんには、本大学のことを姪っ子と思って欲しい。折に触れて思い出し、援助し、口を出し、一緒に心配し、一緒に喜び合う、そのような存在とっていただきたいし、そのような大学になりたいと思う。大学の成長にとり、同窓生・同窓会が決定的役割をもっているとの認識に立って、昨年度から同窓会との連携協力を、学生部の職務分掌に含めることとした。当面の課題として認識しているのは、①同窓生の名簿の確立、②各地支部会の発足、③各地支部会を大学の年間業務と連携させること、等である。③については十分な準備が必要となるが、いずれは各地で行われる入試説明会や保証人説明会等を、同窓会とからめて展開させたいと願っている。すでに他大学では行われていることであり、本学でも話題になっていて実現は可能である。

受験生の女子大離れは今年も見受けられ、2022年度入試については、全国

規模で見ると2~3%ほど女子大志願者が減少している。背景にあるのは少子高齢化に伴う18歳人口の減少だが、それに加えて、女子の共学志向の高まりがある。本学でも危機感は高まっている。しかしそれでも、女子大の一部は根強い人気があり、共学ではなく女子大に進学するメリットは充分にある。最近の女子大は、現代の社会状況に合わせて、教学内容をこまめに見直し、就職率も低くない。つまり、教育内容とキャリア形成については共学の大学と比べてまったく遜色がない。本学には、小規模女子大に特徴的な面見の良さや人格的温もりがあり、それが高等教育機関でありながらも人間形成の場として機能することを下支えしている。

この大学はまだまだ成長できる。東北の名門女子大学になることができる、そのために、同窓生からたっぷりの愛情と栄養を注いでいただけることを願いたい。

仙台白百合女子大学同窓生の皆様 お元気でいらっしゃいますか！

仙台白百合女子大学 同窓会会長
家政科1回生

渡邊 博子



今年も春を迎え福寿草の花が咲き、梅の花・桜の花と自然界は例年の通りやってまいりますのに私達の生活はコロナウイルス感染症に始まりオミクロン株・今度はBA.2株で第7波が懸念されるなど耳にし落ち着かない日常となっており、非日常が続く皆様方もご苦労が多いことと思っております。

このような影響を鑑みて役員会・学内幹事会（同窓生の方で仙台白百合女子大学に勤務されている方々）の皆様方と相談を致しまして6月5日の同窓会総会は今年も中止とさせていただきます。同窓生の皆様方と御一緒に心豊かな一日を過ごせますように準備を進めてまいりましたが感染者を出さないようにするための決断でございますので御理解の程を宜しくお願い申し上げます。

その中で今年の総会は2年に1度の役員改選の年でございますが学内幹事の皆様にお諮りし、会長の後任に副会長を務めていただいております健康栄養学科准教授の氏家幸子先生（家政科7回生食物栄養）をお願いをしてお引き受けいただきました。長い間、拙い私を支えていただきました役員の皆様方、御協力をいただきました会員の皆様方には心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

改めて仙台白百合女子大学のさらなる発展と同窓会の皆様方の御健康と御健勝をお祈り致します。

次期同窓会長就任挨拶

仙台白百合女子大学 同窓会次期会長
家政科7回生

氏家 幸子



混沌とした社会に左右されることなく、自然は春光うらかな季節となり、私どもを楽しませてくれております。同窓会会員並びに関係の皆様におかれましては、ご健勝にて日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、渡邊博子同窓会長の後を受け、仙台白百合女子大学同窓会会長を務めさせていただくことになりました氏家幸子です。

これまで同窓会設立以来、長らく会長としてこの同窓会を育て、粛々と守り抜いてこられた渡邊博子会長はじめ関係の皆様方の熱い思いを受け継ぐには心もとない私です。これまで以上に皆様方のお力添えを賜り、春のような温もりある会にしていきたいと存じます。どうぞ、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

卒業生から

人間学部健康栄養学科5回生
東北大学病院 栄養管理室 室長
布田 美貴子

東北大学病院は、1160床を有する特定機能病院です。東北大学病院の理念は、「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」であり、その言葉通り、先進医療を含め、対応する疾患は多岐にわたります。私が所属する栄養管理部門も「患者さんに優しいつながりのある栄養管理」を理念とし、医療スタッフの一員として患者さんの栄養管理全般を担っています。

私が病院の管理栄養士を目指したのは、仙台白百合女子大学在学中の東北大学病院での臨地実習がきっかけでした。それまで私が抱いていた栄養士のイメージが大きく変わり、患者さんの治療に関わる医療スタッフの一員として活躍する姿にとっても影響を受けました。縁あって、東北大学病院に入職してから、多くの患者さんと接してきましたが、みんなの顔が違うようにその患者さんにとってより良い栄養療法はそれぞれ違うという事に気づかされます。病状、病態を考慮したうえで、嗜好や食習慣を聞きながら、どんなものなら食べられるのか、どんな食事療法なら続けられるのかを患者さんと相談しながらご提案するようにしています。勤務して17年になりますが、今でも患者さんに

食べられるようになった、相談してよかった、と言ってもらえることが一番のやりがいであり、モチベーションにつながっています。

昨今では栄養管理は治療の一環と言われ、管理栄養士の栄養介入が診療報酬としても評価を受けるようになり、その範囲はどんどん広がっています。当院の栄養部門でもNSTをはじめ多くの専門チーム（嚥下治療センター、サポートティブ（緩和）ケアチームなど）に参加し、患者さんにとって何が良いのかを多職種で検討しながら栄養療法のご提案をしています。私たちの活動が認められてきている一方、栄養の専門職としての責任を感じながらの毎日です。とはいえ、患者さんにとって、食事や栄養は毎日の日常の中にあるもの。患者さんの中にはつらい治療をしている方も多くいらっしゃいますので、癒しや日常を感じられる存在でありたいと思っています。

日々、進化を続ける医療現場の中で、管理栄養士が医療スタッフや患者さんからなくてはならない存在になることを目指し、私自身も栄養管理部門もステップアップしていきたいと思っています。



※布田美貴子氏の記事は全国の栄養士たちが愛読する「日本栄養学雑誌」2021年11月号の「トップランナーたちの視点」に掲載されております。



大学3年生を振り返って

グローバル・スタディーズ学科4年

及川 愛衣

この1年は、コロナ禍の学生生活にも慣れ、自分なりに充実した生活を送ることができました。

学内では特に、学生会の会長として学生会活動に一生懸命取り組み、今後の糧となる良い経験をすることができました。例年には無かったオンラインでの行事開催は、新しい学生生活の在り方として新鮮であり、試行錯誤をしながらの活動は楽しく、学びの多いものとなりました。

一方で、学生会行事のほとんどが感染対策の観点から中止、またはオンライン開催となったため、思い描いていた学生会活動や学生生活とは異なり、楽しみを奪われた気持ちがありました。そんな中でも、大学へ行けばいつも温かく声をかけてくれる友人や周囲の人々には感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、私が学生会の会長として活動した最後の行事は、「学生会クリスマス会」でした。これは、2021年最後の行事

でもあり、感染対策をしながら対面で開催することができました。学生会の役員や各委員会、サークルのメンバーと協力し、出し物や抽選会といったクリスマスらしい企画を実施しました。当日は、300人を超える学生が参加してくれたことで、コロナ禍でも楽しく、思い出に残る時間を過ごすことができました。

また、いよいよ本年度から始まる就職活動や卒業に向けて、本格的に動き出した年でもありました。今から、卒業後の生活を想像してわくわくすると同時に、自分の将来を決める大事な時期であると考えたら、期待と緊張に胸を躍らせています。

私は現在、英語の教員免許取得を目指すとともに、一般の就職活動も併用して行っています。春には教育実習が始まり、就職活動も本格化するため、不安もひとしおですが、将来を見据えてこつこつと頑張っていきたいと思います。

学生生活について

人間発達学科3年

遠藤 ももか

私には、5歳の時から幼稚園の先生になりたいと言う夢があります。きっかけは、当時の担任の先生の姿に憧れて「私もこんな先生になりたい!」と思うようになりそこからずっと目指しています。大学に入り専門の知識やピアノ、造形などこの2年間でたくさん学んできました。夢を叶えるまで残りの2年間でさらに勉強と実習、ピアノと頑張っていきたいです。

また、現在も続いている新型コロナウイルスの感染拡大の影響でこの2年間は思い描いていた学生生活を送ることができませんでした。この2年間で自分を変えるため学生会に所属し活動や実習に向けて自分の武器となる保育教材作りに取り組んできました。

学生会の活動では、この1年間総務に所属しました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんど行事を行

うことができず思うようには動けませんでした。そのような中クラブ・サークル運営委員としてクラブ・サークルの部長の皆さんと協力してポスター製作や校内放送などを行い勧誘活動に力を注いできました。今年度は学生会役員選挙で投票していただき学生会会長を務めることになりました。この1年間学生会会長として学生のみなさんが大学生活をコロナ禍でも楽しめるような行事を行ったり、学生の声を聞きそれに答えられるように活動していきたいです。

また実習に向けて自分の武器となるいろいろな保育教材を作ることを心掛けています。3年生になると本格的に保育園(所)や幼稚園の実習が始まるので時間がある今、実習中に使えるペープサート、パネルシアター、紙皿シアター、手袋シアター、エプロンシアターと様々な保育教材を作り子どもたちが楽しめるように製作をしています。

2021年度入会式

2022年3月17日(木)、本学講堂にて人間学部23回生の同窓会入会式が行われました。

マリア様に見守られ、232名の新会員を迎える事が出来た事を嬉しく思います。大学生活で学んだ多くの事を原動力に、益々のご活躍と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



— 同窓会より 記念品 —

あれから

家政科5回生 千葉 恵子

まさか、あんなことが…起こったのです。
ラジオから聞こえた、6メートルから10メートルの津波…、えっ・いつ・どこに来るの、我家にとは考えもしませんでした。
津波により、義母・家を失いました。
なんにもなくなりましたが、今こうして、生かされております。
逃げてる時は夢中だったがすぐ近くにヒタヒタと水は見えただけです。

後で思うとお守り頂いて、助かったと思い感謝を忘れない日を過ごしております。
避難をした土地での生活は、とても良い人に恵まれました。ボランティアをしたり、勉強したりと避難をしていることを忘れられ、いやなことも多い申しあわせ者だったと思います。
前向きな性格も持ちあわせていたのかと自分自身を顧みたりしています。
生きてゆくのに無駄なことはありません。いい事・悪い事全てが生きる糧と考えます。

回想にふける居久根に囲まれた家

家政科1回生 中沢 定子

東日本大震災で内陸部の被害状況はあまり報じられないが場所によって被害が甚大な所もあった。

私は遠田郡美里町の米専業農家に生まれた。生家は居久根に囲まれ、幼少の頃夏休みになると六畳くらいの広さだっただろうか、父と長兄とで櫓を組んでくれた。櫓の上に近所の友だちが代わる代わり集まり、宿題をしたり、寝転んでたわいもない話をして遊んだことを懐かしく思い出す。

居久根は杉の木が主で、本数は定かではないがけっこうな数だと思う。夏場の暑さしのぎには最適だ。ケヤキや銀杏の木も高々と混在していた。

東日本大震災でかなり被害が甚大で、屋敷内の諸所（しょしょ）の建物は全て崩壊し、残ったのはただ一棟「蔵」だけだった。あまりにも変わり果てた風景に茫然自失の状態で涙が止まらなかった。すべての思い出が一瞬にして無惨にはぎ取られ憎しみを抱いた。しかしこの気持ちを誰にもぶつけようがない。

早々に新築し、モダンでハイカラで快適な造りは見事ではあるが、慶事や仏事、あるいは事あるごとに親戚や近所の住人が大勢集まり賑わった時の様子が鮮明に脳裏に焼き付いて消えないせいなのだろうか。それとも各部屋の広さ、重厚な梁、居間と座敷を仕切るうるし塗りの板戸、欄間や天井の高さなどから漂い醸し出す雰囲気は表れただけだろうか。落ち着いた中でゆったり過ごせたかつての心底からの安らぎは築百余年の家とは比較にならない、何かが違う。「癒やし」とか「温もり」といった言葉が私の心には当てはまらないように思う。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」…。鴨長明が八百年以上前、既に起こるであろうことを見据え、警告し、箴言し諭して記したかのよう。

まざまざと心に響き、栄枯盛衰は人の世の常なのかと思いい知らされた気がする。

(当時：民生委員児童委員)

次は河北新報2021年2月21日に掲載したものである。

『津波 備えのラジオで知る』

10年前の3月11日、用事を済ませて石巻市門脇の自宅に戻り、一息ついた時だった。家じゅうが音をたてて揺れ始め、立ってられないほどだった。

今は亡き祖母は、地震に遭うと「曼荼羅(まんだら)、曼荼羅」と唱えていた。私もこの言葉を呪文のように口にし、揺れが収まるのを待った。ただごとではない、と隣近所に声掛けして、リュックを背負い、近くの青葉中に避難した。このリュックは2日前に前震があった後、「もしかして」と食料や衣類、ラジオを入れて準備していたものだ。

青葉中に着くと、先生方から3階へ行くよう促された。先生方は津波警報が発令されていることを知っていたのだろう。時間が経過するにつれ、避難して来る人が多くなり、教室と廊下は身動きができないほど混雑してきた。

青葉中周辺は一部を除き、大きな津波被害がなかった。校庭にも水は上がらなかったのも、津波が市中心部を襲っているとは知らなかった。

夜になると、各教室にろうそくが1本ずつともされた。教室には、びっしり人がいるにもかかわらず、誰も口をきかない。乳飲み子もぐずすることもなく、異様な静けさだった。大きな余震に見舞われるたび、「わあ〜」と悲鳴が上がるだけだった。

外の様子が分からないため、持参したラジオを取り出し、スイッチを入れた。その時になって、初めて津波で甚大な被害が出ていることを知った。

翌々日の朝、道路に上がっていた水も引いたので帰宅した。自宅は床下浸水だった。ライフラインが復旧するまで、近所の方と毎朝6時に近くの空き地に集まり、情報を交換したり、食料や生活物資を分け合ったりした。

人生は表裏一体だからこそ

人間学部12回生 服部 かすみ

2021年3月11日、あれから10年なのだなあと不思議に思うのは、記憶が鮮明だからなのだろうかと感じていました。強度HSP気質である私は、出来事も目の当たりにした風景も、受けた刺激は人より大きく感じたり記憶に残ります。だからこそ、今こうして作家業を続ける際には大いに役立つこともあり、震災のような出来事は、ごく最近のことのように鮮明に記憶に残っています。ただ、結論から申し上げますと「暗い記憶」だけじゃないんですよ。

2011年3月11日当時、揺れが落ち着き家族と連絡が取れた後、お世話になっていた喫茶店の店主さんへ毛布を届けに走りました。ご自宅は泉でお店は名取方面というような距離感、そして親戚やご家族は関東にいらっしゃる方だったんですね。ここで最初の「暗くない記憶」です。こちらが「マスター生きてる!？」とバタバタお店に駆け込むなり「おう! 珈琲飲むか!」なんて床に食器やボトルが散らかる中、笑顔で仰るんですよ。とにかく拍子抜けしましたね「そんな場合?」なんてすら。

しかしこういった「大丈夫、生きてりゃなんとかなる!」というようなことこそ、本当に大事だったということが後々分かってくるんです。

震災一週間後、名取へボランティアに出かけました。不安いっぱいの中で炊き出し班をしていれば、みちのくプロレスの方々から「ボランティアの皆さんへ」とワカメご飯を大量の寄付! ただし無断なので焦る役所の人達…笑

避難所では遊びたい子どもたち、静かにしてほしい大人たち。そこで寄付した画材や折り紙でわざと無理難題を提示し夢中にさせました。「小学校高学年? そうかじゃあ鶴は簡単で飽きるよなあ。じゃあ手つないだ鶴いこう」なんて。その内、見ていたお母さんまで一緒になったりして…笑

学科でオリジナルの卒業式をしたこともそうですが、コロナで騒がれている今もそう、大変な時こそ「発想の転換」。震災もコロナも、これがいかに大事か教えてくれた出来事のように私は捉えています。

(漫画アシスタント フリーイラストレーター)

大震災の経験を今後活かそう

人間学部8回生 堀内 裕子

私は震災当日に外出先で被災しました。事前に友人に行き先を伝えていましたが、偶然にも友人と合流することができ、車で自宅まで送って頂きました。

途中で雪が降り寒かったことを思い出します。父は自宅、母と妹は外出先で被災し、自宅まで時間をかけて徒歩で帰宅しました。

自宅の近くでは道路から水があふれ出ており断水しました。電気やガスも使えないため、ロウソクや石油ストーブで代用しました。

余震が続く夕方方に小学校に避難しましたが、寒すぎて一睡もできませんでした。避難する際はラジオや毛布、非常食も限られているので、自宅から持参するべきだと思いました。

外では福島原子力発電所が大変な事態になっているとは思ってもいませんでした。女川原子力発電所の見学をしたことがあります、分厚いコンクリートでも冷却できなくなると最悪な事態になることが分かりました。

我が家は亡き祖父母が建てた家に増築をして住んでいました。半壊でしたが放射能を懸念して福島から母方の親戚が避難してきました。古い家は隙間だらけになり、寒すぎて寝られない日もありました。車も頻繁には動かさないため、重たい水を運ぶことは一苦勞です。

人数が増えたので食料を求めて妹と何時間もお店に並びました。数ヶ月で親戚は福島に戻りましたが、避難のストレスのせいか伯父と祖母は体調を崩し入院までしました。祖母は処置が遅すぎたことが悔やまれます。

私は震災後に防災の知識を高めるため防災士の資格を取得しました。日頃からお風呂の水をためておくようにし、ペッ

トボトルの水、非常食をストックするようにしました。避難用バッグを1階と2階に置き、外出用のバッグにはお菓子や水、ポーチに着替えやホイッスル等を入れています。

これからは大災害が起きた時に率先して地域の方々の手助けをしたいと思っています。そのためには安全を確保し、自分の命を守り、生き延びた上で援助することが最も重要です。片付けより危険な場所から避難するべきです。

また、仙台傾聴の会の存在を知り、傾聴を学んだ後に気仙沼に行く機会がありました。仮設住宅に住んでいる方々と交流しましたが、前向きな姿に逆に元気を頂きました。コンクリートの枠組みだけの庁舎を見た時は津波の恐ろしさを実感しました。

人は不安な気持ちでいる時に話を聞いてもらうだけで少しは心が軽くなると思います。ただ何も言わず寄り添うだけでも一人でないと感じることができます。

最近はオンラインやSNS、電話で友人と話すことが増えました。今後は傾聴ボランティアの養成講座を受講することにしました。

10年が経ちましたが心の復興は途中であり、コロナの影響で人との交流が少ないため孤立している方が沢山いると思います。短時間でも茶話会等の役割は大いにあります。どのような形でも人と繋がることは必要不可欠です。

今回の震災で知り合いや友人を亡くしショックを受け、ご冥福を祈るばかりです。日本は震災が多いですが乗り越えてきました。この経験を糧にし、防災士として一人でも多くの命を救えるように精進したいです。

カトリック研究所 2022年度 第1回研究会

演 題：若者のキャリア形成と大学教育
日 時：2022年5月28日(土) 13:30～15:00
講 師：前田 信彦氏(立命館大学教授)
開催方法：オンライン講演



カトリック研究所 第34回公開講座

演 題：「なぜ神は助けないのか」
講 師：西平 直氏(京都大学名誉教授)
日 時：2022年7月16日(土) 13:30～15:30
開催方法：オンライン講演



申込み方法：大学ホームページよりお申し込みください。
※公開講座・研究会の詳細については、本学ホームページにてお知らせいたします。

年会費お支払のお願い

卒業時に納入していただきました終身会費は、通信費等に使われておりましたが、諸般の値上がり等により、60才以上の方に年間2,000円の会費のご協力をお願いしております。
尚、60歳をお迎えにならなくても、ご賛同を頂けます方はご協力よろしく願いいたします。
会費は、下記の口座へお振込下さるようお願いいたします。

記

- ゆうちょ銀行 02280-2-137248
- 加入者名 仙台白百合女子大学同窓会
送金なさる時、回生も書いてください。(封筒の名前の下に書いてあります。)(例 家政科1回生)
- 年会費 2,000円 振り込み手数料はご負担をお願いいたします。

家政科 1回生 11名/2回生 4名/3回生 7名/4回生 2名/5回生 2名/6回生 4名/7回生 1名/8回生 4名/9回生 2名/
10回生 1名/12回生 2名/14回生 1名/16回生 1名/20回生 1名/21回生 1名/英語科 4回生 2名/女子大学(福祉) 8回生 1名
合計協力金 132,000円(人数47名) 2022年3月末現在
昨年度ご協力いただいた皆様方に、深くお礼申し上げます

同窓会総会中止のお知らせ

いつも同窓会にご理解・ご協力を賜りましてありがとうございます。
標記の件につきまして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022年6月5日(日)開催予定の「同窓会総会」を中止することになりました。
同窓生の皆様の安全・安心を第一に考えての決定となりました。ご理解頂ければと存じます。
大変残念な結果となりましたが、この新型コロナウイルスが早く収束することを願い、皆様方のご健康をお祈り申し上げます。
なお、下記の項目につきましてその承認および新年度執行を役員会に一任して頂きますようお願い申し上げます。

記

- ① 2021年度事業報告並びに収支決算報告
- ② 2022年度事業計画案並びに予算案

同窓生の皆様には諸事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

前理事長 Sr. 式井久美子先生を偲んで



カトリック研究所所長

Sr. 加藤 美紀

2021年12月13日、87歳で神の御許に召された前理事長Sr.式井久美子先生は、シャルトル聖パウロ修道女会の前管区長でもいらっしゃいました。私にとって養成期から終生誓願宣立まで導いてくださった恩師です。スール達を派遣する時には「神様のために何をしている時が生き生きと輝けるでしょうね?」と一緒に考えてくださるような方でした。「日本管区で一番美しい所に派遣しましょう」と送ってくださったのが仙台です。会員全員に「人生の夢」を三つ自由に書かせたこともありました。神の望みを求めて生きるはずのスールに本人の望みを聴くのは、とても創造的なことで、それほど会員一人ひとりを大切にしてくださいました。若手の修道名祝日には万年筆で綴られた、可愛いシール付きのカードが届きました。

本学入学式、卒業式の祝辞のため来仙される時には、旧泉修道院で夜遅くまでスピーチを練り直していらっしゃった御姿が臉に焼き付いています。一言一句洗練された格調高いお祝辞には、優れた英文学者としての

見識の深さと美意識の高さ、全ての方々に隅々まで行き届いた配慮を実感させられたものです。「ポーリニアン」「白百合ファミリー」などのキーワードは、白百合の歴史に残るでしょう。

授業時間前には教室の前に待機し、チャイムと同時に入室されたという徹底したプロ意識。料理家でいらっしゃった御母様譲りの腕前でお手製スコーンを学生達に振る舞う温かさ。80代後半を越えてもなお頭脳明晰、意気軒高で、不登校の子どものための憩いの場をつくる夢を抱いておられたようです。数多くの教職員と教え子の皆様から敬愛された式井先生は、修道名の聖フランシスコ・ザビエルとリジューの聖テレジアのように、高潔でパワフルな福音のメッセンジャーとして、60年間の修道生活を見事に全うされたのだと仰ぎ見る思いです。主が、マスール・フランソワーズ・ドゥ・サント・テレーズに永遠の安息を与え、不滅の光で照らしてくださいと信じます。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

	回生	科	名前		回生	科	名前
〈短大〉	1	家政	川村日米子	〈短大〉	13	家政	兼平孝子
	3	家政	岩本順子		16	家政	小川則子
	6	家政	渡部裕子		5	英語	豊嶋由佳
	9	家政	高橋節子	〈大学〉	7	福祉	田中麻美
	10	家政	坂内淳子		1	発達	鈴木綾

ご逝去なされた方の情報がお分かりになりましたら、事務局までお知らせ下さいませようお願いいたします。



2021年度 会計報告

2021年度 決算報告

項目	取入	支出	備考
2020年度繰越金	19,949,175	0	定期預金・普通預金を含む
2021年度終身会費	3,480,000	0	女子大学23回生(232名)
年会費	132,000	0	(47名分)
利息	209	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	0	0	
入会式	0	143,280	卒業記念品
会議費	0	1,166	幹事会・役員会等
総会費	0	0	総会中止
会報費	0	1,165,969	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	63,440	花代(入学式・卒業式)
事務費	0	572,639	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	0	ホームカミング・大学祭広告等
予備費	0	0	その他
合計	23,561,384	1,946,494	

2022年3月31日次年度繰越金 21,614,890

2022年度 予算(案)

項目	取入	支出	備考
繰越金	21,614,890	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費	3,675,000	0	女子大学24回生(245名)
年会費	150,000	0	
利息	209	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	0	0	
入会式	0	200,000	卒業記念品等
会議費	0	50,000	幹事会・役員会等
総会費	0	0	総会中止
会報費	0	1,300,000	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	100,000	花代(入学式・卒業式)その他
事務費	0	1,300,000	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	50,000	ホームカミング・大学祭広告等
予備費	0	300,000	
合計	25,440,099	3,300,000	

差引次年度繰越予算額 22,140,099

新幹事紹介

仙台白百合女子大学 人間学部23回生

人間発達学科 子ども発達専攻

A組 金澤 萌/後藤 里緒

B組 鈴木ひかる/平 政美

心理福祉学科

伊藤 茉莉/堀西いづみ

健康栄養学科 管理栄養専攻

A組 小原 爽/齋藤愛珠佳

B組 横山 友菜/三浦まどか

グローバル・スタディーズ学科

A組 佐藤 瑠奈/今野舞名美

B組 小野華奈子/今野 珠里

人 事

〈退職〉2022年3月31日付

人間発達学科

特任教授 佐野 裕子

特任教授 高橋 正人

健康栄養学科

特任教授 河原 克雅

教授 高澤まき子

人間発達学科研究室

佐藤 優香

堀越満見子

〈新任〉2022年4月1日付

人間発達学科

特任教授 鈴木 昌弘

講師 松好 伸一

助教 津田 綾子

健康栄養学科

特任教授 谷内 一彦

人間発達学科研究室

平野 美紀

管理課 後藤 大輔

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、大学より提供された卒業生名簿を同窓会会報の発送と幹事へのお知らせのために利用させていただいております。

還暦祝い・25周年の祝い・同期会などの必要と認められる場合のご連絡については、代表者(学年幹事等)の方に、使用目的の誓約書を提出していただくことをお願いし、個人情報については適切に取り扱っております。

住居表示・姓名に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。その際、下記の事項をお忘れなくご記入の上、電話・ハガキまたはFAXにてお知らせください。よろしくお願いいたします。

記

- 氏名(現・旧)
- 住所(現・旧)
- 電話番号
- 学科・回生・クラス

【連絡先】

仙台白百合女子大学同窓会事務局
〒981-3107 仙台市泉区本町田6-1
TEL・FAX (022) 372-3595
(毎週木曜日開局)

●編集者

阿部美恵子(家政科 3回生) 塚本 良子(家政科 5回生)
斉藤 礼子(家政科15回生) 西條るり子(家政科15回生)